

■ 研究課題名

4 都内医療機関で分離したカルバペナーゼ産出腸内細菌科細菌の分子疫学解析

■ 研究の概要

病原菌の薬剤耐性化は臨床上大きな問題であり、特に腸内細菌をはじめとするグラム陰性桿菌では多剤耐性化が顕著である。特にカルバペナーゼ産出腸内細菌科細菌（CPE）はカルバペネムに対して高度耐性を示す頻度が高いことが知られており、CPE が保有する薬剤耐性遺伝子は伝達性プラスミド上に存在することが多く、そのため高率に他の腸内細菌科細菌に伝播され疫学的にも注意が必要である。本研究で CPE の全ゲノム解析を行うことで、東京都における CPE の分子疫学情報を評価することができ、効率的な感染対策への応用が期待できる。

■ 研究期間

平成 31 年度から令和 3 年度まで

■ 研究機関の名称及び研究機関の長

東京都健康安全研究センター 所長 吉田 道彦

■ 研究責任者の氏名

微生物部病原細菌研究科
有吉 司

■ オプトアウト

「保有個人データの研究使用の停止申請」により当研究から除外が可能である。